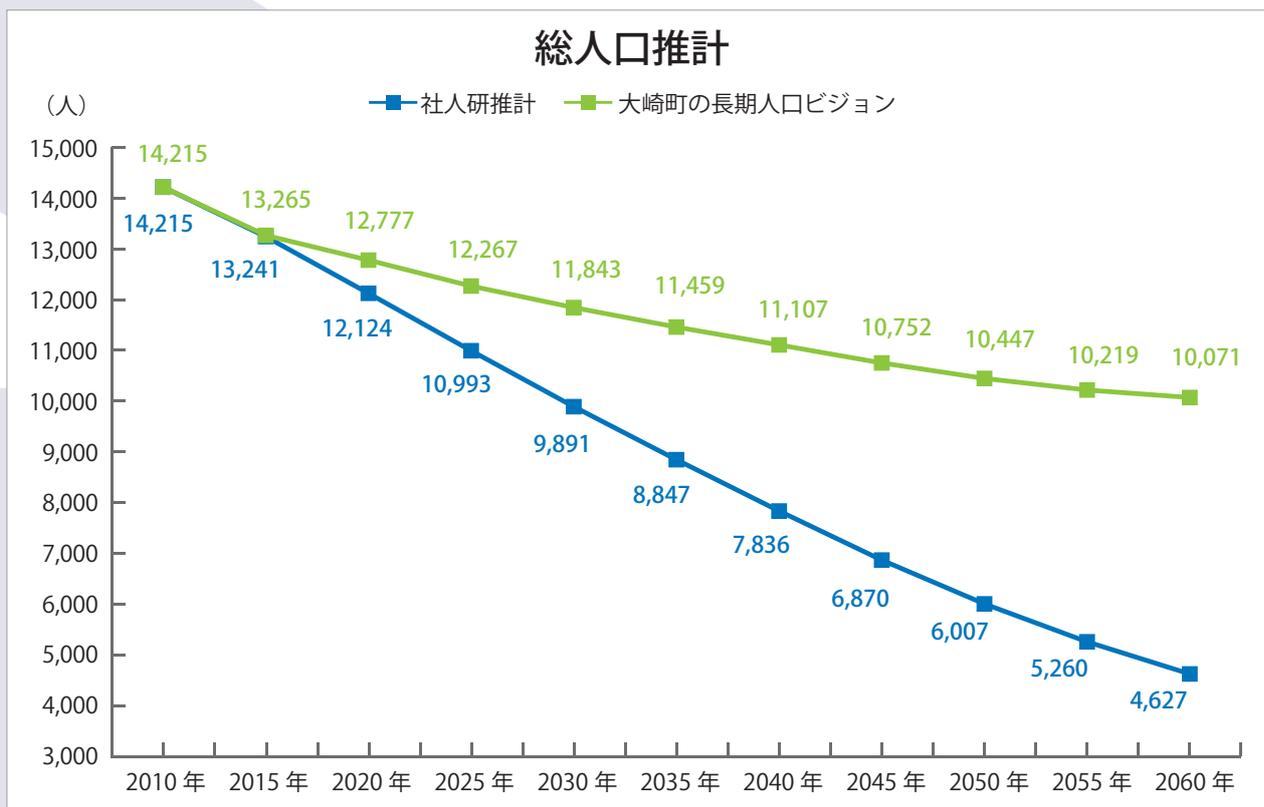


人口ビジョンと4つの基本目標



上の表は、青色で示した社人研（国立社会保障・人口問題研究所）の人口推計を基礎とし、緑色で示した大崎町の今後目指す将来の方向と人口の展望を表した『大崎町人口ビジョン』の一部です。

社人研のグラフで分かるとおり、本町の人口は今後40年で、大幅に減少することが予測され、このような人口減少に歯止めをかけるため、本町では2060年に約1万人の人口を維持することを目標としています。

今回策定した『第2期大崎町総合戦略』は、第1期の5年間で進めてきた施策の検証と『大崎町人口ビジョン』を踏まえ、また新たに「SDGs」の視点を取り入れた、2020年度を初年度とする今後5年間の目標や施策の方向性等を策定しています。

また、横断的な目標である「多様な人材の活躍を推進する」「新しい時代の流れを力にする」をキーワードに、SDGsの各ゴールを新たな4つの基本目標に結び付け、ともに目標達成を目指し、取り組んでいく内容となっています。

基本目標 1

地域の経済循環を高めるしごとを作り、人材を育成する

【数値目標】

5年間で100人の雇用の創出を図ります。

地域内事業所における付加価値額20億円の向上を図ります。

【課題】

- ・ 既存産業のしごとはあるが、人材が不足している
- ・ 若者に魅力ある職種が地域に少ない
- ・ 地域資源を活かしたビジネスが少ない
- ・ 地域内にビジネス研修の機会が少ない

【具体的な取組み】

- 新規就農者の確保・後継者の育成
- 新規創業・起業家に対する支援
- 「陸上競技の聖地」実現プロジェクトの推進
- 地域に人の流れを呼び込む人材育成・研修事業

